

令和4年版 環境白書 自然環境

コウノトリが舞う里づくりの推進



越前市農政課

越前市の豊かな自然

里地里山



サギソウ



ハッチョウトンボ



アベサンショウウオ

国内最大生息地

コウノトリの特徴

簡単に言うと...

里に棲む大きくて優雅な鳥

コウノトリ (*Ciconia boyciana*)

- 分布** 中国やロシアを中心に分布
- 翼開長** 約2m
- 体重** 4~5kg
- 食性** 肉食
- 餌生物** ドジョウ、フナ、昆虫など
- 習性** 成鳥は鳴かずクチバシを打ち鳴らし音を出すクラッタリングを行う。
- 生息数** 世界で約3000羽
- その他** 国の特別天然記念物



日本の**野生個体群は絶滅し、野生復帰**が行われている。

物語

Story



昭和32年～39年：矢船町でコウノトリが営巣





Photo by T. Hayashi

昭和45年：黒川町にくちばしの折れたコウノトリが飛来



Photo by T. Hayashi

昭和46年：「武生(コウちゃん)」のためにドジョウを集める子供たち

Photo by T. Hayashi



昭和46年：豊岡に移送されるため保護された「武生」



平成22年4月1日：白山地区2羽のコウノトリが飛来うち1羽が長期滞在

平成22年4月1日 白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在

- 市は名前を公募し、499件の中から「えっちゃん」に決定
→ 「えっちゃん」に特別住民票も発行！

以後、12年連続(平成22年～令和3年)でコウノトリが飛来！



越前市に長期滞在した
「えっちゃん」



巣作りする2羽のコウノトリ

今、白山地区で行われていること

福井県と兵庫県が行うコウノトリの
飼育・繁殖及び野生復帰に向けた試験

なぜ？

- 兵庫県以外の個体群の復活
- 感染症などのリスクの軽減 etc.





平成23年12月10日～ 白山地区でコウノトリ飼育開始

2014年～ コウノトリ ひな誕生



コウノトリ大空に舞う (平成29年10月8日:放鳥式)



大空へ飛び立つほまれくん

- ・平成23年12月 福井県が越前市でコウノトリの飼育を開始
- ・平成26年 6月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化
- ・平成27年10月 うち2羽を放鳥
- ・平成28年 5月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、うち2羽孵化
- ・平成28年 9月 2羽を放鳥
- ・平成29年 5月 兵庫県から譲り受けた3個の有精卵を托卵、全て孵化
- ・平成29年10月 うち2羽を放鳥
- ・平成30年 4月 飼育コウノトリが4個の有精卵を産卵、全て孵化
- ・平成30年 9月 3羽を放鳥

コウノトリが舞う里づくりの成果

平成22年4月1日 白山地区にコウノトリ2羽が飛来

1羽が王子保地区で107日間滞在、市は名前を公募し「えっちゃん」に決定！

以後、13年連続(平成22～令和4年)でコウノトリが飛来！

平成29年2～3月に野外コウノトリが白山地区で産卵！県内で51年振り！

平成30年4月に飼育コウノトリが産卵！4羽孵化！

県内で産まれた卵から雛が誕生したのは54年振り！

平成31年3～4月に2組の野外コウノトリが白山地区で産卵！ 5月に3羽のひな誕生！

県内で野外のコウノトリから雛が誕生したのは55年振り！

令和2年6～7月に野外コウノトリが白山地区から4羽の巣立ちが実現！越前市初！

令和3年6～7月に2年連続4羽の巣立ち。坂口地区で初めての巣立ちが実現！

令和4年6～7月に3年連続7羽の巣立ち。延べ15羽



越前市に長期滞在した「えっちゃん」



野外で産卵、孵化した「たからくん」と「みやび」のペア



県内で55年ぶり誕生したひなと「たからくん」
令和元年5月13日確認
(写真提供 古木 仁さん)

令和2年4月 安養寺町

2年連続野外コウノトリのひな誕生。順調に成長



令和4年度は**3年連続**の巣立ち 安養寺町・下中津原町

●安養寺町の巣塔では、**3年連続**となる3羽の巣立ちが実現

- ・愛称「いそべくん」 J0430 オス
- ・ 「きなこくん」 J0431 オス
- ・ 「わらびくん」 J0432 オス

●下中津原町の巣塔では、**2年連続**となる4羽の巣立ちが実現

- ・愛称「明(めいちゃん) J0448 メス
- ・ 「魅結(みゆう)ちゃん」 J0449 メス
- ・ 「蒼(そう)くん」 J0450 オス
- ・ 「大(だい)くん」 J0451 オス



左から、魅結ちゃん、蒼くん、大くん、明ちゃん

越前市食と農の創造ビジョン



「生きものと共生するコウノトリが舞う里づくり」について

(1) 食育・地産地消の推進

家庭・地域・学校・JA等と行政が互いに連携し、食育や地産地消を推進します。

(2) 環境調和型農業の推進と農産物のブランド化

コウノトリをシンボルとした「安全、安心」「生きものとの共生を目指す」越前市ブランドを確立します。

(3) 里地里山の保全再生

里地里山の自然と環境を守るための保全活動を推進します。

(4) 農村の資源を活かし、コウノトリをシンボルとした交流活動の推進

農村の魅力を発信し、交流を深める取組みを推進します。



令和2年度～食と農の創造ビジョンに統合し推進

(1) 食育・地産地消の推進



まるごと食の感謝祭



ごはん塾



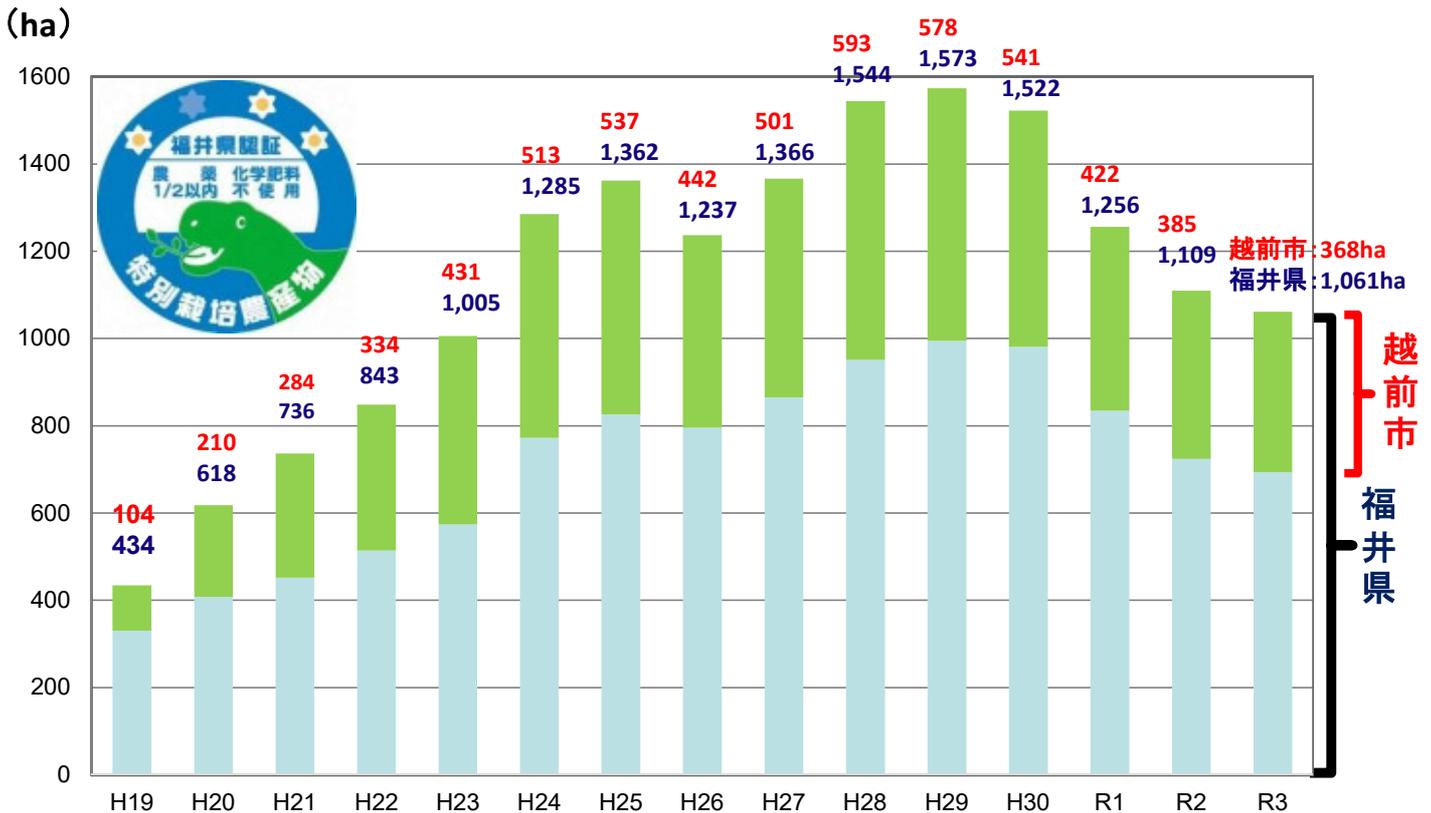
地場産農産物を使った食育の推進



食育の普及啓発

(2) 環境調和型農業の推進

県内の特別栽培米作付面積の約35%を越前市が占める



21

(2) 環境調和型農業の推進

冬期湛水

- 福井県 244ha
- 越前市 93ha

県全体の38%

中干延期

- 福井県 218ha
- 越前市 160ha

県全体の73%

《令和3年度》

「令和3年度環境保全型農業直接支払交付金の全国取組み面積」
福井県 全国11番目 2,065ha (北海道を除く)



全国トップクラスで環境調和型農業に取り組む福井県の中で、
越前市は環境調和型農業の中心

22

コウノトリ呼び戻す農法部会

- 平成21年「コウノトリ呼び戻す農法部会」が発足
コウノトリをシンボルに安全・安心な米作りを行う
- 人と生き物に優しい**無農薬・無化学肥料栽培を推進!**



23

(3) 里地里山の保全再生①

コウノトリも生息し続けられる環境(休耕田ビオトープ)



24

(3) 里地里山の保全再生②

コウノトリも生息し続けられる環境(水田退避溝)



水田退避溝の整備
12.5ha(令和3年度末実績)

25

(3) 里地里山の保全再生③

コウノトリも生息し続けられる環境(水田魚道)



水田魚道の整備 22箇所
(令和2年度末実績)

26

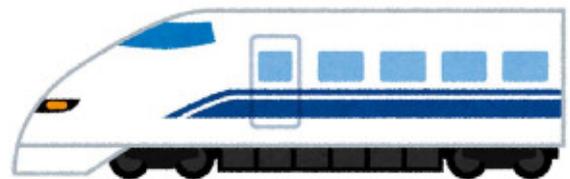
(3) 里地里山の保全再生④

コウノトリも生息し続けられる環境(希少野生生物の保全活動)

絶滅のおそれのある種の生息環境を保全



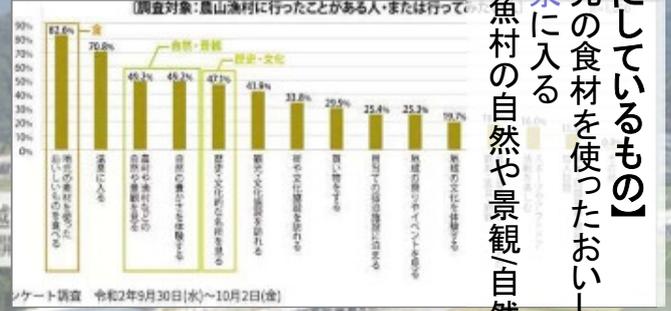
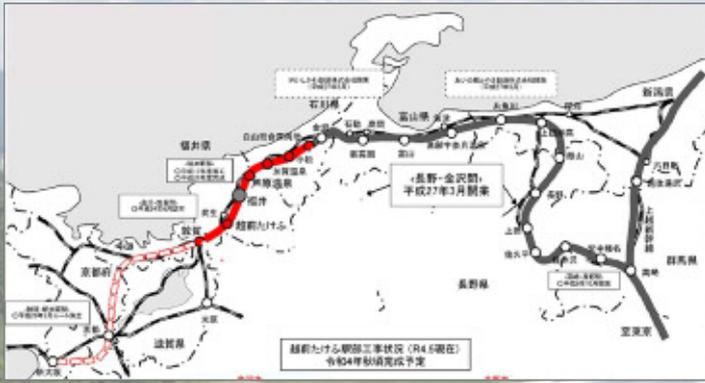
27



GT・食・農ブランディング プロジェクト



令和6年春 北陸新幹線県内開業



【楽しみにしているもの】
1位 地元食材を使ったおいしい食事
2位 温泉に入る
3位 農・魚村の自然や景観・自然の豊かさを体験

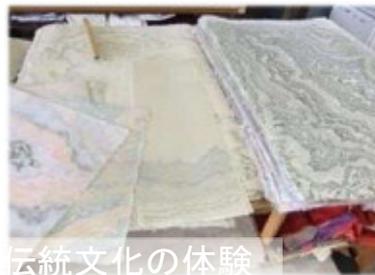


2022年6月2日 丹南土木事務所 撮影

ロハス越前

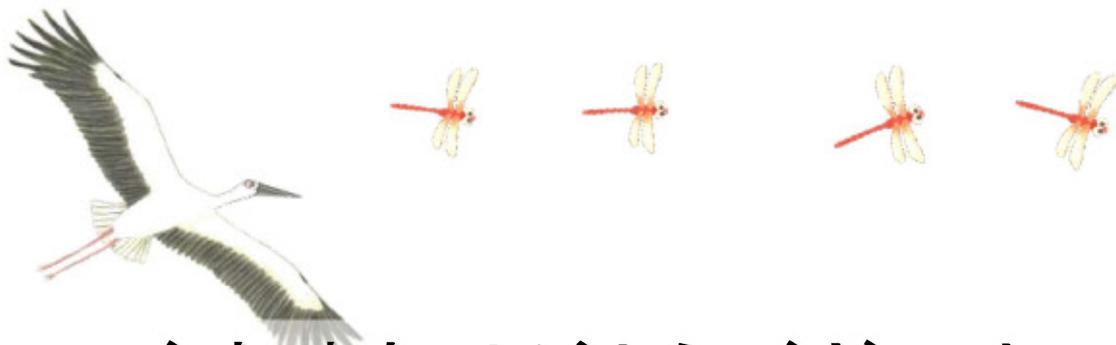


様々な農業体験



コウノトリブランドとは・・・

越前市内で生産されたコウノトリとゆかりがある農産物やその加工品。自然環境への配慮や食の安全安心に対する取組がなされているもの。



ご清聴ありがとうございました。

～ コウノトリが舞う里を未来の世代へ ～

越前市産業環境部農政課 コウノトリ共生・里地里山再生室

